

—市民のための
ネットワーク論の基礎

今泉影狼と草の根つながりの謎



後藤和智事務所
OffLine

今泉影狼と 草の根つながりの謎

市民のためのネットワーク論の基礎

著：後藤和智（後藤和智事務所 OffLine）

表紙イラスト：ニモコル（ニモコル屋）

発行：2017年10月15日

（第4回博麗神社秋季例大祭）

注意

1. 本書は、同人サークル「上海アリス幻楽団」の作品「東方 Project」の二次創作作品です。本書は東方 Project の二次創作ガイドラインに従って制作されているものであり、また著者と原作者及び作者のサークルとは一切関係がありません。そのほか、登場人物の口調などが原作と異なる場合があります。
2. 本書を著作権法の定める私的使用の範囲外で公開などを行うことを禁じます。また、本書の使用により生じた問題についての責任は負いかねます。

はじめに

——ミスティア・ローレイの屋台にて。

今泉影狼（以下、影狼）…でき、ミスチー、ちょっと聞いて欲しいんだけど。

ミスティア・ローレイ（以下、ミスティア）…何さ突然に。

影狼…こないだあたしとわかさぎ姫と赤蛭奇の3人でいろいろと話し合ってたさ、そのときにわかさぎ姫が言ったんだよね。「そっついえば、私たちはなんで繋がってるんだろっかね？」って。普段から唐突に変なことを言う子だとは思ってたんだけど、今回の問いは、なんていうか哲学的っていうか、そんな感じに思えてさ。

ミスティア…あー、でも改めて考えてみると確かにそんな気はするわ。まあそんなことを突然考えたくなるってのは人の性ってやつよね。あたしたち妖怪だけど。

影狼…ちよっと、あんたもそんなこと言い出すの？

ミスティア…でもさ、考えてみなよ。たとえばあんたはいつもその2人とつるんでるけど、他方でこっぴつふうにしてたまにあたしと一緒に話したりするじゃん？ あるいはあんたは永遠亭とか人里とかでたまにバイトしたりするようだし、まあそういう風にしていろいろなつながりがあると思うのよね。あたしだって、こっぴつてあんたと話してる一方で、屋台の設営とかでリグルやルーミアやチルノとか大ちゃんとかに手伝ってもらってるし、それ以外にも慧音先生とか妹紅さんとかにもいろいろ相談したり手伝ったりしてるし、まあほかにもいろいろあるっていうか。

影狼…まあ言われてみれば確かにそっつかもね。ただそれをいま深く考える必要があるのかっていうのは違っと思っけど。

謎のつながりの狼影と泉の根

基礎論のネットワークのための市民

霧雨魔理沙（以下、魔理沙）：邪魔するぜ。

ミスティア：いらっしやい。今日はいつものやつでいい。

魔理沙：いや今日はちょっと趣向を変えて、焼き魚でも頼もうかな。

ミスティア：焼き魚ねえ。あいにくだけど今日は魚が取れてないのよ。

魔理沙：そうか。しかしここに来た以上たまたま冷やかしかただけで帰るわけにもいかねえからな。とりあえずおひたしでも頼もうかなと。……そういえばお前ら、ちょっと聞いてたんだがつながりがどうとか言ってたか？

影狼：聞いてたんだ。悪趣味な奴だね。まあ世の中にはいろいろつながりがあるよねって話で、それ以上進めるものじゃないとは思っけ。

魔理沙：そうか？ 例えば2011年3月11日に起こった東日本大震災では、極限的状况にある中でもほとんど暴動が起きないという言説が起って、地域の「絆」が称賛される一方で、東京電力の「原子力ムラ」的なものが批判されたり、あるいは被災地でも、東北学院大学の調査によると、仙台市、そして東京都でも「外国人が被災地で犯罪を犯している」という噂が流れ（注0・1）、排外主義的な流れが醸成された地域もあると聞く。無批判な「絆」称賛や、俗流若者論的な「いまの社会は人々のつながりが薄くなっている」といった言説が横行する一方で、改めて社会におけるネットワークについて考える必要はあると思っただ。

影狼：そういえば震災前に「無縁社会」ってのが話題になったよね。NHKだったか。確か菊池寛賞も受賞してたような（注0・2）。「無縁」が東日本大震災を経て一気に「絆」礼讃に行っちゃったことで、本当に必要な、って言えばいいのかな。社会的なつながりの性質や本質が疎かになってるってのはある気がする。

魔理沙：…だろ？ そういった容易な「社会派」言説に流されないためには、今一度社会のつながりというものの本質について学ぶ必要があるってことだ。

注0・1 「震災後のデマ」信じた

8割超す 東北学院大、仙台

市民調査 <https://mainichi.jp/articles/20170313/>

ddm/004/040/009000c

注0・2 第58回。受賞理由は「家族

ふるさと、地域や企業社会で人間の絆を失い、急速に孤立化する日本人。世代を超えて広がる新たな現代社会の病巣

影狼…でも、あんたはそれを語れたりするの？

魔理沙…まあちょっと準備が必要かな。また後日会おう。それじゃあな。他に何人が気になってる奴を呼んでくるよ。

影狼…とまあそんなことを魔理沙が言ってたけど、あいつのことだし、どこまで本気かわからないよね。

ミスティア…まあね。ただあの人はそれなりに調べたりしてるし、いろいろなお偉いさんの相談なんかも受けてたりしてるよっだから、そこそこ信頼はできるんじゃないかしら。さて、そろそろ魔理沙が指定した時間になるわね。

魔理沙…待たせたな。せっかくだから人々のつながりについていろいろと語りたい奴も連れてきたぜ。

堀川雷鼓（以下、雷鼓）…お待たせ。そこの狼さんは初めましてかしら？

ミスティア…あ、雷鼓さん？ まさかあんたが来てくれるとは。

影狼…ミスチー、この人と知り合いなの？

ミスティア…ええ。こないだ響子たちと一緒にやってるバンドと対バンしたこともあるし、他にもこの人のドラムをBGMに歌ったこともあるわ。

影狼…そうか、そういうつながりもあったのか。……と、初めまして。あたし、ミスチーのちょっとした知り合いの今泉影狼って言います。

雷鼓…いいわよ、そんなにかしこまらなくても。あたしだって付喪神になってあまり時間が経ってないし。

を丁寧な取材で挟りだし、警

鐘を鳴らして。 http://

www.bunshun.co.jp/

shinkoukai/award/kikuchi/

list.html

謎のつながりの根と狼影の泉

基礎論のネットワークのための市民

影狼：それにしては結構大物な雰囲気を漂わせてる気もするけど……まあいいか。で、どういふ話をするつもりなの？

魔理沙：今回は社会的ネットワークについて学ぶ。講師は主に私が担当する。社会的ネットワークについては近年でそれなりに研究が進んでいて、解説書も結構あるが、まずは社会的ネットワーク論、そして社会関係資本という概念について基礎的なことを解説する。その後、その社会的ネットワークや社会関係資本というものが社会にどのような役割を果たしているのかということ、人々の幸福度と、インターネットの2つの観点から見ていくことにしたい。

雷鼓：特にインターネットについては東日本大震災前は主に若い世代からコミュニケーション能力などを奪ったものとして論じられることが多くて、「ケータイを持ったサル」なんて言葉も生まれたけど、それとは別にいろいろな研究がなされてきたよね。

魔理沙：若い世代の人間関係に関しては原田曜平（注0・3）氏に代表されるようなマーケティング系の言説が猖獗を極めているが（注0・4）、そういう言説は若い世代をトレンドの発生源、さらにはいばけカネの発生源としてしか捉えておらず、その社会的な位置づけについてはないがしろにされることが多い。若い世代のアイデンティティに関する議論は本書の著者の他の著作に譲ることとして（注0・5）、新しいつながりが生み出す社会的役割についての考察も必要だね。

影狼：結構話が広がりそうだね。

魔理沙：まあある程度コンパクトにやっついていくつもりだから、あまり期待せずに付き合ってくれ。

雷鼓：さて、読者の皆様にも挨拶しないとね。

魔理沙：そうだな。……というわけで、このたびは「後藤和智事務所Offline」68冊目の同人誌を手にとってくれてありがとう。前回出した社会科学系の東方本（『比那名居天子と地獄組の帝王学』——市民のための公共政策論の基礎）後藤和智事務所Offline、2016年）が政策系だったから、今回は再び理論系に戻った形だ。今回ネットワーク論を採り上げよ

注0・3 Harada, Yohai 博報堂

ブランドデザイン若者研究所
リーダー。著書に『若者のゼ
ンぶ』『ヤンキー経済』『新・
オタク経済』など。

注0・4 詳しくは、後藤和智「マー
ケティング化する『若者論』
の罪々キャッチーに切り取
れ、そうすれば金になる」
[http://gendaiismedia.jp/
articles/48919](http://gendaiismedia.jp/articles/48919) を参照。

注0・5 後藤和智『古明地ごとり

うと思ったのは、その公共政策論の解説書を書いた際に人々のつながりが社会のリアルな動態にどのような影響を及ぼすかということを考えてきたからだ。

雷鼓：公共政策論や社会構築主義の本を書いているとき、本書の著者は、日本の「言論」が異議申し立てをしたい人にとってあまりにも不利なものだということを感じたよね。何らかの社会問題を解決したくとも社会運動的なものは嘲笑されて、かといってマスコミとかに「ネクシヨン」がある人も一部しかいなくて、結局ネット上で叫ぶだけで何事も進展しないということに危機感を覚えて。最近でこそ若い世代の社会運動に関する良質な研究はいくつが出てきているけど（注0・6）、政局に傾きすぎた社会論議を是正するためにも、人々のリアルなつながり、そしてつながりのリアルについて考える必要があると思ったのよね。……で、本書の表紙はどういうことなの？

魔理沙：今回の表紙はpixivやニコニコ動画などで東方Projectの登場人物を猫っぽくした作品「東方子猫典」の作者、サークル「ニモコル屋」のニモコル氏に依頼しているが、本書の内容は「子猫典」的なものとは関係ない、ただ居酒屋で社会学談義が行われているだけのものだ。ただネットワーク論の解説書ということで網で戯れる東方キャラの絵が欲しくて依頼した次第だ。

雷鼓：そんな理由なんだ（笑）。この場を借りてお礼申し上げます。このような著作に素晴らしいイラストを提供してくださいますして誠にありがとうございます。

の自己形成論講義——市民の

ための「自己」をめぐる社会

科学講座（幻想郷市民大学

1——自己・社会・メディア

の理論（後藤和智事務所O

ffline、2016年）

第1章収録、及び同『アリ

スのキャンパスライフ論講座

——市民のための現代高等教

育論の基礎』（後藤和智事務

所Offline、2015

年）を参照されたい。

注0・6 富永京子『社会運動と若

者——日常と出来事を往還

する政治』ナカニシヤ出版、

2017年など

今泉影狼と草の根つながりの謎

市民のためのネットワーク論の基礎



目次

はじめに

4

第1章 社会的ネットワークとは何か

12

1・1 はじめに 12

1・2 そもそもネットワークとは 13

1・3 スモールワールド 14

1・4 スモールワールド・ネットワークは何の役に立つのか 17

1・5 スケールフリー・ネットワーク 19

1・6 ポジティブ・ネットワークと社会的信頼 20

第2章 社会関係資本とは何か

23

2・1 はじめに——社会関係資本とは何か 23

2・2 『孤独なボウリング』25

2・3 社会関係資本と社会参加 30

今泉影狼と草の根つながりの謎

市民のためのネットワーク論の基礎

2・4 サブカルチャーと社会関係資本 35

第3章 インターネットと社会関係資本

3・1 はじめに 39

3・2 インターネットとコミュニケーションの特徴 40

3・3 インターネットと社会関係資本 44

3・4 変化するインターネットの利用目的と社会関係資本——レイシズムを例に 46

おわりに

おわりに 50

あとがき 51

50

39

第1章 社会的ネットワークとは何か

1・1 はじめに

魔理沙：最初に社会的ネットワークの話をする。ところでいきなり社会学からは離れることになる

が、本書の著者が最近テキストマイニングにはまっているということを知っているよな？

雷鼓：何を突然にメタな話をするのよ……。

魔理沙：いや、ネットワークのイメージを掴むのにちょうどいい話題だと思っただけ。本書の著者は

テキストマイニングのときに「KH Coder」というソフトを使うが、このソフトでは共

起ネットワークと呼ばれるものを描くことができる。

影狼：共起ネットワークって、あの単語と単語が結びついてるような図のことだよな。(図1・1)

魔理沙：この図は、本書の著者が9月に発表した稲田朋美(注1・1)論「稲田朋美」とは何だっ

たのか？もてはやされた「保守政治家」の凋落(注1・2)で使った形態素解析データをもと

に描いた共起ネットワークだが(注1・3)、このネットワークはJaccard係数の高い順

番に上位60個の共起関係を線で結んでいるが、それぞれのトピックで使われている単語が固

まっている感じだよな。現実の人々のネットワークも一側面としてはこのようなものに近い

が、ただこれとは違った特徴を持つこともある。このような単語のネットワークと実際の人々

のネットワークの違いに着目しつつ、人々のネットワークの構造やその役割について見ていく

ってとしたら。

注1・1 Inada, Tomomi: 1959-

弁護士、衆議院議員(自民党
細田派)。第2次安倍内閣以
降で規制改革担当大臣、防衛
大臣を歴任。著書に『私は日
本を守りたい』など。

注1・2 [http://gendai.ismedia.](http://gendai.ismedia.jp/articles/-/52947)

[jp/articles/-/52947](http://gendai.ismedia.jp/articles/-/52947)

注1・3 使用したのは出現数60以
上の上位100自立語(図分

ワークになって、人々の間の具体的な関係は捨象される。しかし、同じ組織の中に属しているも、実際に何らかのやりとりがなければ全くの他人でしかないよな。だが、組織の中で人々の間で何らかのやりとりがあれば、その関係は深まっていて、共同作業や情報交換ができるようになったりすることが期待できるはずだ。

影狼：まあ組織が大きいと、同じ組織にいても互いの顔を知らないこともあるってことは単純な話だよな。

魔理沙：この説明から考えられるのは、社会的ネットワークというのは最小単位として2者間の関係を考えることだ。仮に組織に10人がある組織に属していたとする場合、この間の対角線の数は35本引けることになるが、現実には関係が存在しないものもある。これが組織が50人とか、100人とかになったら関係が存在しないもののが多くなるかもしれない。路線図とか見てみるとわかるかもしれない。例えば東北地方の場合、仙台駅と郡山駅は東北本線や新幹線で直接繋がっていて、また郡山駅と会津若松駅は磐越西線で繋がっているが、仙台駅と会津若松駅を直接結ぶ路線は存在しない。鉄道網と同じように、人間関係にも繋がっているものと繋がっていないものが存在する。だがこの事実を踏まえるだけでもネットワーク論の本質にはかなり迫っていると言える。

1・3 スモールワールド

魔理沙：先ほど路線図の話をしたが、これから説明する「スモールワールド」はこの路線図をベースに考えるとわかりやすい。

影狼：スモールワールドって、訳すと「小さな世界」になるけど、それとネットワーク論にどう関係があるんだい。

類除く。

注1・4 増田直紀『私たちはどうつながっているのか——ネットワークの科学を応用する』

(中公新書、2008年) p4

注1・5 増田前掲 p4

謎のつながりの根と草の影と泉今

基礎論のネットワークのための市民

魔理沙：お前が言った通り、「スモールワールド」というのは「小さな世界」を意味するぜ。そしてその本義とは、世間というのは意外と狭いということだ。あるテレビ番組では、市井の人から知り合い関係を通じて何人で対象の有名人にたどり着くかという実験が行われたが、日本国内の場合5〜10人程度ならあらゆる有名人にアクセスできることが示されている（注1・6）。

それどころか、世界レベルにおいてもそれが成り立ってしまうことさえある。例えば別のテレビ番組では、アフリカのサントメ・プリンシペ民主共和国という、ギニア湾に浮かぶ火山島の国から、たった14人で日本の笑福亭鶴瓶（注1・7）氏にたどり着けてしまった（注1・8）。

ミスティア：そりゃすごい。

魔理沙：ここでは日本の鉄道網を例にとりて実際に調べてみるか。影狼、ちょっと路線図を見ながら、栃木県にある東武鉄道佐野線の吉水駅から、高知県にある土佐くろしお鉄道こめんなはり線（阿佐線）の香我美駅までの乗り換え経路を調べてみてくれないか。

影狼：吉水から香我美って……『らき☆すた』の作者？ まあいいか。でも栃木から高知なんてかなり離れすぎてわからないな……。とりあえず乗り換え案内とか使ってみるとこんな感じになるかな？

吉水↓（東武佐野線）↓佐野↓（石両毛線）↓小山↓（石東北新幹線）↓東京↓（石東海道・山陽新幹線）↓岡山↓（石宇野線・本四備讃線・予讃線・土讃線・特急南風）↓後免↓（土佐くろしお鉄道こめんなはり線）↓香我美

影狼：乗り換え回数は5回か。全く関係のなさそうな駅でもたった5回の乗り換えで行けるとは驚いたな。

魔理沙：特急を使っているからいくつかの分岐点をスルーしているが、現実には路線の分岐点を入れ

注1・6 増田前掲 p.22

注1・7 Shotokutei, Tsurube 著

語家、タレント。2000年上

方お笑い大賞受賞。

注1・8 増田前掲 p.25